

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード

21124002

平成25年度作成

平成24年度  
実施事業

事務事業名

有害大気汚染物質調査事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	1	環境に配慮した暮らしの構築
小分類	2	環境保全活動の推進
主要な施策	4	④公害監視体制の強化
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 11 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策グループ
-----	-------	-------	---------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのある、ダイオキシン類の汚染状況を調査することにより、市民の健康の保護を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	大気中のダイオキシン類測定分析調査を実施する。 【事業実績】 ・ダイオキシン類大気測定調査 測定場所：幌別中学校グラウンド 測定回数：年2回
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	ダイオキシン類による大気中の汚染で、人の健康に係る被害が生じないように、本年度も大気汚染状況のデータを継続して把握し、生活環境の保全を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	大気汚染防止法、登別市環境基本条例、登別市公害防止条例

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	462	462	462	462	462
事業費 合計			462	462	462	462	462

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 環境基準を超える測定値の件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
平成19年測定結果：0.0087 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 平成20年測定結果：0.0096 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 平成21年測定結果：0.0061 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 平成22年測定結果：0.0055 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 平成23年測定結果：0.0047 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 環境基準：年平均0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup>	平成24年測定結果：0.0055 pg-TEQ/m <sup>3</sup>  いずれの年も環境基準を大きく下回っている。しかしダイオキシン類は人の生命及び健康に重大な影響をもたらす可能性があるため、引き続き継続して測定調査を実施していく必要がある。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《 Check 》
<b>1. 事務事業の妥当性について</b>		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 大気中の環境基準の達成状況を調査し、人の健康の保護及び生活環境の保全に努める。
<b>2. 事務事業の必要性について</b>		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 ダイオキシン類による大気汚染は、程度によって市民の健康に重大な影響を与えるおそれがあるため、必要性が高い事業である。
<b>3. 事務事業の効率性について</b>		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 調査回数は年2回であるが、各年の測定結果では、環境基準を大きく下回っていることが確認されている。少ない調査回数で、市民の安心に寄与しているため、低予算、少労力で高い効果をあげているといえる。
<b>4. 事務事業の成果について</b>		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 調査結果を公表することにより、市民の安心に大きく寄与していると考えられるが、具体的に成果として把握することは困難である。

①担当グループによる評価		《 Check 》
<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 継続的に調査を実施することにより、現状を把握し、結果を公表することで住民への環境保全への意識の向上を図る。	

②行政評価会議による評価		《 Check 》
<b>維持</b>	備考	